

新興国レポート

インド準備銀行 5会合連続で政策金利引き上げ

CPIは9月をピークに低下基調、市場は利上げ休止のタイミングを探るか

- ▶ インド準備銀行 (RBI) は12月7日定例会合を開き、5会合連続で政策金利引き上げを決定。
- ▶ 11月消費者物価指数 (CPI)の上昇率は前年同月比+5.88%と、前月から大幅に低下。RBIの政策目標(2.0~6.0%)上限を11ヵ月ぶりに下回るも、依然、高水準が続く。
- ▶ インド株式は、各国金融当局の金融引き締め緩和への期待などから上昇基調が続く。

(1) 5会合連続で利上げを決定

インド準備銀行 (RBI) は12月7日の金融政策決定会合において政策金利 (レポ金利) を0.35%引き上げ、6.25%とすることを決定しました。利上げは5会合連続です(図表1)。

RBIのダス総裁は、講演で、インフレ高進の最悪期は脱したが油断はできないと指摘し、「インフレとの戦いは終わっていない」と述べ、金融引締め継続の必要性を強調しました。

(2) インドCPIの動向

インド統計・計画実施省中央統計局が12日に発表した11月消費者物価指数 (CPI) は前年同月比+5.88% (市場予想: 同+6.34%)と、前月から大幅に低下しました(図表2)。CPIは9月をピークに低下しており、11月は11ヵ月ぶりにRBIの政策目標(2.0~6.0%)の上限である6.0%を下回ったものの、依然として高い水準が続いています。

なお、項目別では飲食料品は前年同月比+5.1%と、前月 (同+7.1%) から低下しました。食料品のなかでも野菜類 (同-8.1%) の低下が目立ちました。一方、光熱費は同+10.6%と、高止まりしています。

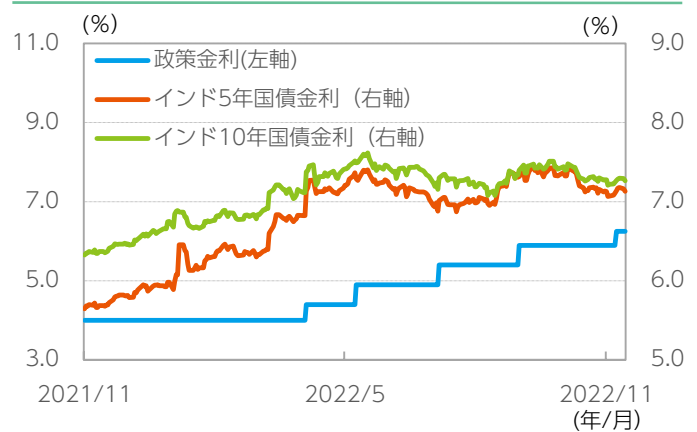
(3) インド株式や金利、通貨の動向

米連邦準備制度理事会 (FRB) 高官の発言を受け、FRBをはじめとする各国の金融当局が利上げペースを緩めるとの期待などから、インド株式は上昇しました(図表3)。

インド10年国債金利は、FRBの金融引き締めペースが鈍化するとの見方から米長期金利が大幅低下した流れを受け、低下(価格は上昇)しました(図表1)。目先は欧米金利の動向を受け、インド10年国債金利は一進一退の展開が予想されます。

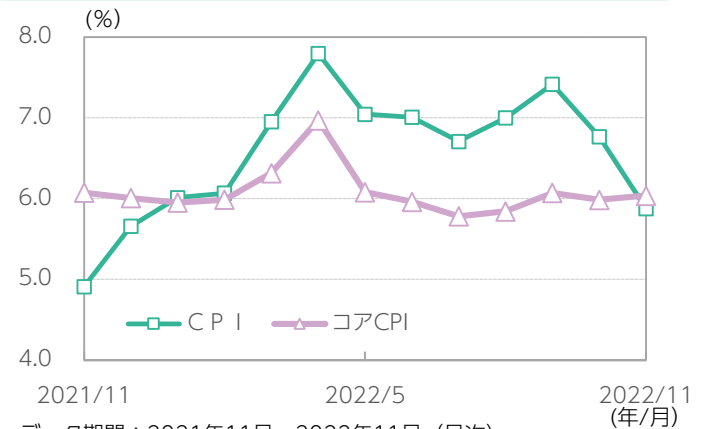
為替は、円が対ドルで円高基調となったことから、円高・インドルピー安が進みました(図表3)。RBIと日銀の金融政策の方向性の違いなどから、インドと日本の金利差は大きいと、今後、一層の円高・インドルピー安が進む可能性は低いものと思われる。

図表1: インドの各金利の推移



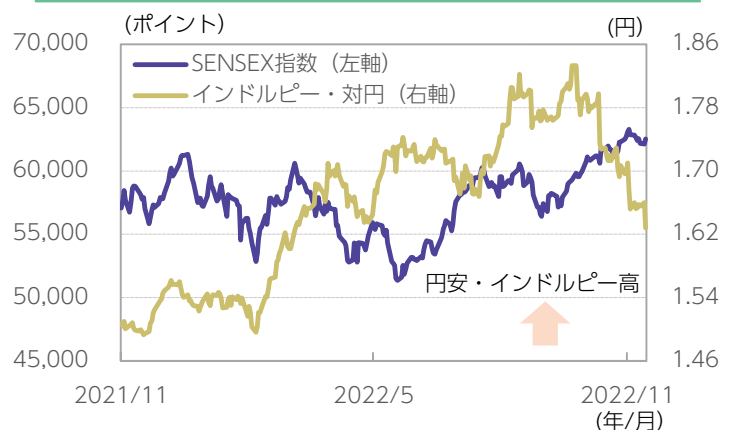
データ期間: 2021年11月30日~2022年12月13日 (日次)

図表2: インドのCPI上昇率



データ期間: 2021年11月~2022年11月 (月次)

図表3: インド株式と為替の推移



データ期間: 2021年11月30日~2022年12月13日 (日次)

出所) 図表1~3はブルームバーグ、CEICのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>